

マーケットの動き（2021年9月27日～10月1日）

先週の為替市場は、米ドルは対円で上昇（円安）しました。

FOMC（米国連邦公開市場委員会）が11月にも量的緩和の縮小開始を決定すると示唆したことに加え、中国経済の先行き不透明感や景気停滞下での物価上昇懸念によりリスク回避姿勢が強まり、米ドルは主要通貨に対し上昇しました。

ユーロは、対円・対米ドルともに下落しました。

投資環境見通し（2021年9月）

円に対して、米ドル、ユーロともに緩やかに上昇

米ドル：米国において、新型コロナウイルス変異株の感染拡大による個人消費への影響は懸念されますが、雇用情勢の改善傾向が続く、経済活動の正常化が進むとの見方が広がる中、米ドルは円に対して緩やかに上昇するとみています。

ユーロ：ECB（欧州中央銀行）による金融緩和姿勢が続くとみられ、ドイツ連邦議会選挙を巡る動向には神経質な動きとなる可能性はありますが、経済活動が活発化すると見方を背景に、ユーロは円に対して緩やかに上昇するとみています。

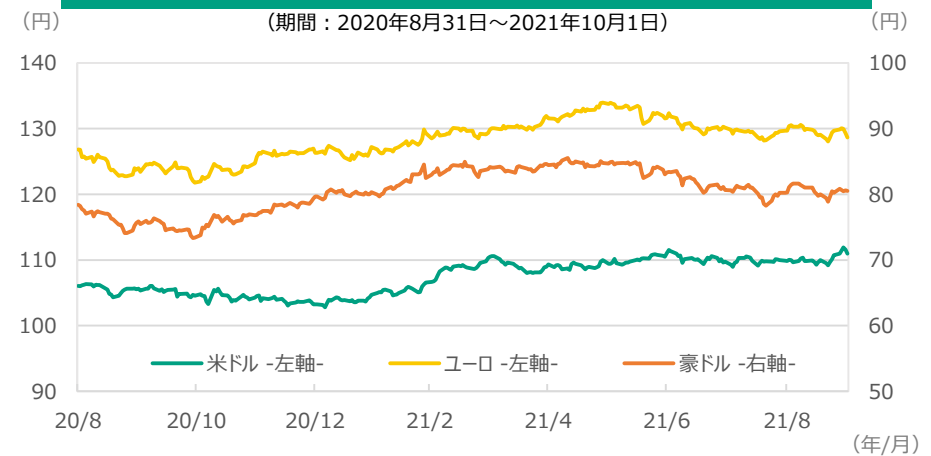
	10月1日	変動幅（円）			
		前週比	1ヵ月前比	6ヵ月前比	1年前比
米ドル/円	110.97	0.26	0.96	0.37	5.33
ユーロ/円	128.68	▲0.99	▲1.72	▲1.39	4.71

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

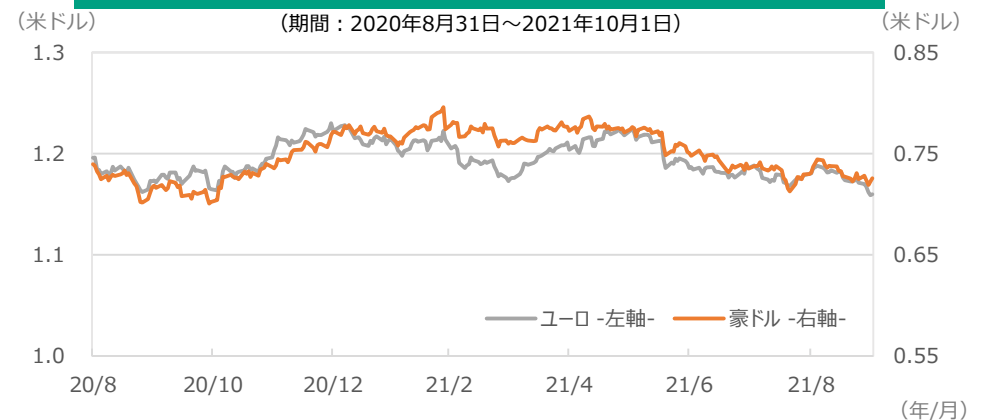
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202109_outlook.pdf

為替レートの推移（対日本円）



為替レートの推移（対米ドル）



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>